



OpenSolaris の最新情報

2010/02/27

オープンソースカンファレンス

2010 Tokyo/Spring

日本 OpenSolaris ユーザーグループ

大野 圭一

今日は ...

- OpenSolaris 概要
- OpenSolaris 2009.06
- 次のリリースに向けて
- ファイルサーバーとして使ってみる

OpenSolaris 概要

○ Project Indiana

- opensolaris.org のプロジェクトの一つ
- Linux 開発者等にも親しみやすい OS
- Live CD, Live USB

○ 約 6 ヶ月のリリースサイクル

- OpenSolaris 2008.05, 2008.11, 2009.06

○ 利用 / 再配布フリー

OpenSolaris の特徴的な機能

○ パッケージ管理

● IPS : Image Packing System

- APT や Yum と同様の目的のもの

○ コンテナ / ゾーン

- 仮想サーバーの実行環境 (ゾーン) とリソース管理

○ ZFS

- コピーオンライトの採用、RAID 機能の実装など

○ DTrace

- 動的トレース

OpenSolaris 2009.06 特徴 (1/3)

- 最新のデスクトップ環境
 - GNOME 2.24.2, Firefox 3.1 beta 3, Thunderbird 2.0.0.21, Time Slider 拡張など
- プラットフォーム / デバイスのサポート強化
 - SPARC プラットフォーム
 - 新たなグラフィックスカード / NIC のサポートを追加

OpenSolaris 2009.06 特徴 (2/3)

○ 革新的な機能の数々

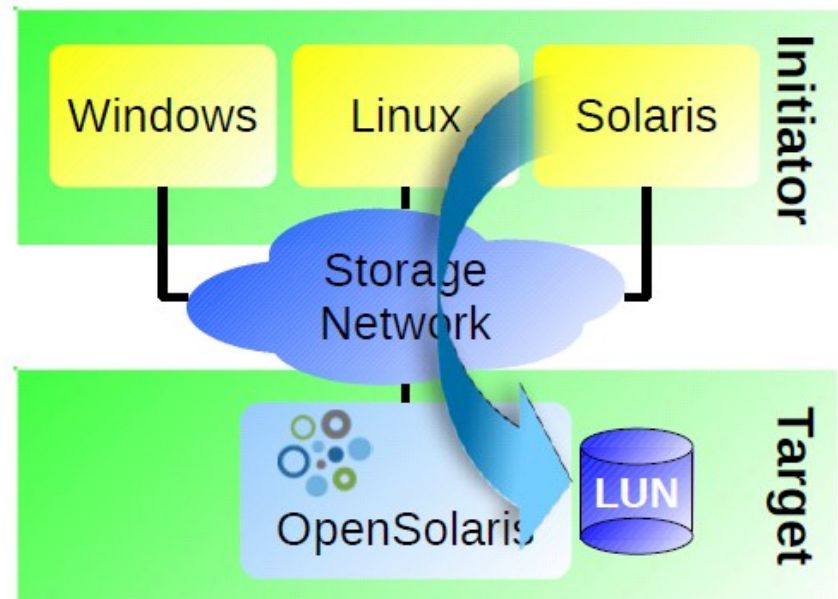
○ Project COMSTAR

(COMSTAR: Common Multiprotocol SCSI Target)

- OpenSolaris システムを SCSI ターゲットに

○ Project Clearview

- ネットワーク管理をよりシンプルに

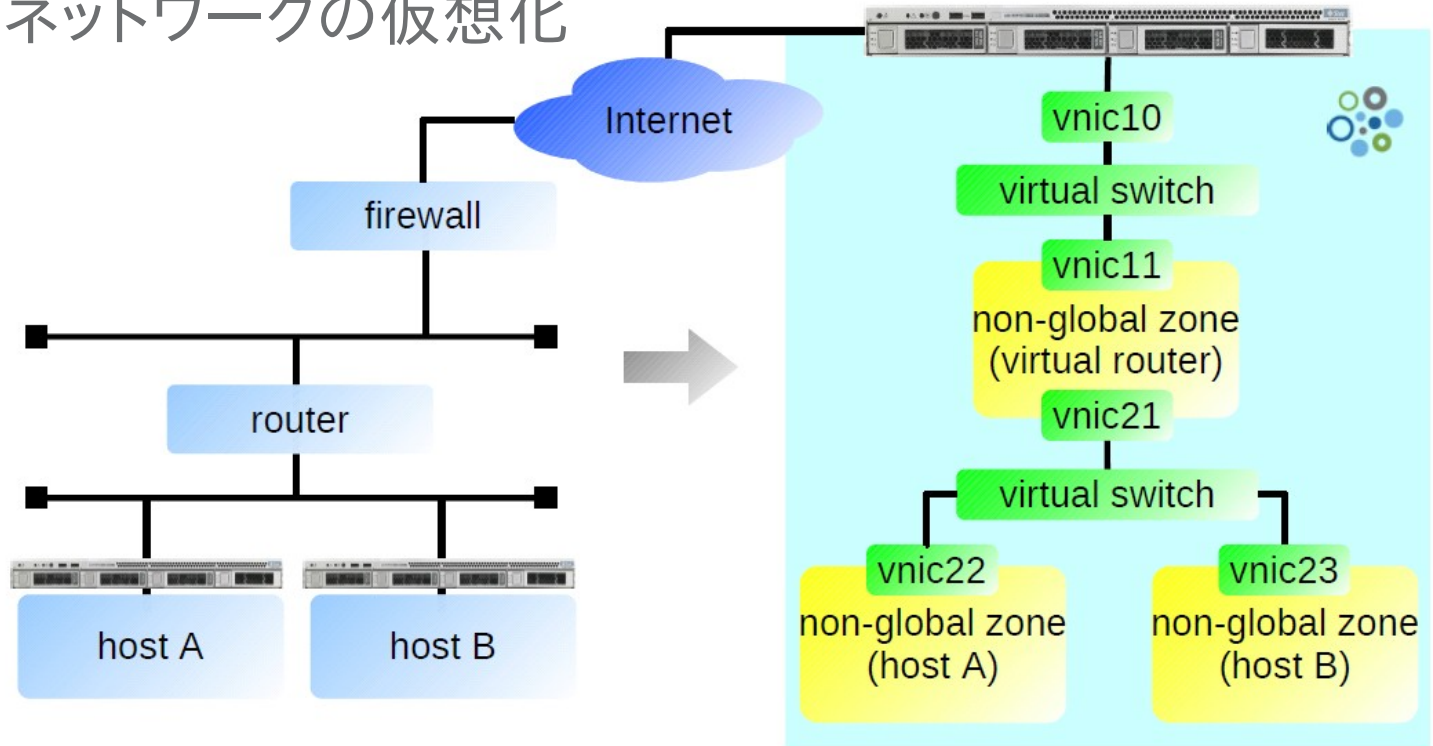


OpenSolaris 2009.06 特徴 (3/3)

○ 革新的な機能の数々

○ Project Crossbow

● ネットワークの仮想化



次のリリースに向けて

○ プレビュー版

- ~~2009/2/19~~ 2010/2/19 build 133 公開
<http://opensolaris.org/jive/thread.jspa?threadID=124203&tstart=0>
- ISO イメージの HTTP ダウンロード
<http://www.genunix.org/>

○ OpenSolaris 2010.03

- 次のビルド (build 134) でリリースの予定

以降のスライドで実装されつつあるアップデートや新機能の一部を紹介していきます

実装されつつあるアップデートや新機能 (1/7)

○ パッケージ管理 (IPS)

- パッケージ名の変更
- パッケージの依存関係検出や一貫性の維持に SAT solver を使用
- オプションコンポーネント向け facet 機構
- 新しいカタログフォーマットとパフォーマンスの改善
- パッケージマネージャのユーザーインターフェースの改善

実装されつつあるアップデートや新機能 (2/7)

○ インストール

○ VM Constructor

- VirtualBox イメージの作成

○ LiveCD 起動時のパーティション編集

- Live CD に gparted を収録

○ ブート可能な自動インストールクライアント

- メディアベースの自動インストール

○ iSCSI ターゲットへのインストール

実装されつつあるアップデートや新機能 (3/7)

○ ネットワーク

- Crossbow 更新
- Berkeley Packet Filter bpf(4) の実装
 - カーネルレベルでのパケットフィルタリング
- L2 Bridging and Protection
 - Layer 2 ブリッジをサポート

実装されつつあるアップデートや新機能 (4/7)

○ GUI パネル

- デフォルトインストールに含まれるもの
 - System Firewall
 - Core Files
- リポジトリ上の他のコンポーネント
 - xVM hypervisor
 - MySQL
 - Apache

実装されつつあるアップデートや新機能 (5/7)

○ 仮想化

- Solaris 10 コンテナ
(brand emulation, p2v, v2v)
- Xen/xVM アップデート
- LDomS アップデート
- VirtualBox ゲスト OS への USB デバイスアクセス

実装されつつあるアップデートや新機能 (6/7)

○ ストレージ

- ZFS 重複排除機能 (de-duplication)
- ZFS User and Groups Quota
- COMSTAR - iSER, SRP, FCoE
 - iSER: iSCSI Extension for RDMA
 - SRP: SCSI RDMA Protocol
 - FCoE: Fibre Channel Over Ethernet

実装されつつあるアップデートや新機能 (7/7)

○ デスクトップ

- GNOME 2.28
- ~~Home directory encryption~~
- XOrg 1.7
- CUPS print system by default
- Boomer/OSS integration

○ ソフトウェアの更新

- 361 の新たなパッケージ (build 131)
- 71 の削除されたパッケージ

ファイルサーバーとして使ってみる

- OpenSolaris を使って Windows クライアント向けのファイルサーバーとして使う
 - ZFS を使った運用
 - CIFS サービスの簡単な起動と共有の追加

参考

<http://sunfish.suginami.tokyo.jp/wiki/index.php?title=CIFS>

<http://hub.opensolaris.org/bin/view/Project+cifs-server/WebHome>

http://wiki.genunix.org/wiki/index.php/OpenSolaris_CIFS_Service

<http://docs.sun.com/app/docs/doc/820-2429?l=ja&q=cifs>

http://wiki.genunix.org/wiki/index.php/Getting_Started_With_the_Solaris_CIFS_Service

CIFS サーバーセットアップ (1/5)

○ CIFS サービスパッケージのインストール

```
# pkg install SUNWsmbskr  
# pkg install SUNWsmbs
```

○ smbssvr モジュールのロード

```
# add_drv smbssrv
```

○ CIFS サービス SMF マニフェストをインポート

```
# svccfg import  
/var/svc/manifest/network/smb/server.xml
```

CIFS サーバーセットアップ (2/5)

○ CIFS サービスの開始

```
# svcadm enable -r smb/server
```

次のようなメッセージが出力されることがありますが無視できます

```
svcadm: svc:/milestone/network depends on  
svc:/network/physical, which has multiple instances.
```

CIFS サーバーセットアップ (3/5)

○ ワークグループへの参加

```
# smbadm join -w WORKGROUP
```

サービスの再起動が発生することを示すメッセージとともに継続するか否か訪ねられるので `yes` を入力します

```
After joining WORKGROUP the smb service will be  
restarted automatically.
```

```
Would you like to continue? [no]: yes
```

```
Successfully joined WORKGROUP
```

CIFS サーバーセットアップ (4/5)

○ pam の設定ファイルの編集

```
# vi /etc/pam.conf (以下を追記)
```

```
other password required pam_smb_passwd.so.1 nowarn
```

○ /var/smb/smbpasswd ファイルの作成

上記 pam の設定をおこなない、ユーザ自信がパスワードを再設定することで /var/smb/smbpasswd ファイルが作成されます

```
# passwd <local_user>
```

CIFS サーバーセットアップ (5/5)

○ ZFS share による dataset の共有

```
# zfs create rpool/cifs
```

```
# zfs create -o mountpoint=/export/myshare  
rpool/cifs/myshare
```

```
# zfs set shraesmb=name=myshare rpool/cifs/myshare
```

○ 確認

```
# sharemgr show -vp
```

ユーザーグループ

○ 日本 OpenSolaris ユーザーグループ

- <http://jp.opensolaris.org/>
- ug-jposug@opensolaris.org

○ 勉強会もやっています

- 原則毎月の最終土曜日
 - サン・マイクロシステムズ 用賀オフィス 27F 会議室
- 次回は 3 月 27 日 (土)
 - D-Trace Day



ありがとうございました

2010/02/27

オープンソースカンファレンス

2010 Tokyo/Spring

日本 OpenSolaris ユーザーグループ

大野 圭一

<http://jp.opensolaris.org/>

“open” artwork and icons by chandan:
<http://blogs.sun.com/chandan>